

平成 20 年 10 月 11 日

東京フォーラム

於：湯島聖堂

中斎塾 東京フォーラム

平成 20 年 第 9 回講話

では恒例の質問を致します。

「昨日一日、嘘をつかなかった方は手を挙げて下さい」

(・・・沢山手が挙がる)

有難うございます。寝る時に、今日は一日嘘をつかなかったか考える癖をつけられるとよろしいと思います。

もう一つお聞きします。

昨日眠る時に、「今日一日、実に良い日だったと思って眠れた方は手を挙げて下さい」

(・・・沢山手が挙がる)

これも習慣化して戴くと有難いと思います。

ブッシュ大統領や麻生首相、舛添大臣・・・こういった方はきっと手が挙がらないでしょうね。その国を動かしている方、組織を動かしているトップの方に「あなたは昨日、嘘をつきませんでしたか」と聞いて、「嘘はつきません」という人ばかりになれば、良い国になるだろうと思います。

もう一つお聞きします。

「昨日一日、目先の欲につられて動きませんでしたか・・・」

人それぞれ目先の欲で動く。最近の状況を見ると、日本だけでなく世界全部同じですね。世界同時株安も目先の欲につられて、一気に下落したものです。

本日の心に残る言葉は、明治天皇の御製の「友」という歌です。

「もろともにたす輔けかはしてむつ睦びあふ ともぞ世にたつちからなるべき」

自分が死ぬ時に、後事を託せる友人がいるかどうか。そういう友人がいるということは有難いことだし、自分が人から頼まれる事があるかどうか、真剣に考えてみるとよろしいでしょう。良い友達がいる。良いご主人・良い奥様がいる。これは何ものにも変え難い。心を素直にして自分の周囲を見渡してみて、夫婦関係はどうか、会社の中の間人関係はどうか、どうぞお考え下さい。又、お手本になるような良いお師匠さんがいるかどうかも肝

心です。どういう場合でも、良いお師匠さんがいる、良い友達がいる、良い家族がいると思えればしめたものです。時々ねじれる場合もあるかもしれませんが、基本的にそれがあれば良い人生が送れると私は思います。そういう方ばかりで国が構成されたら、今のような虚偽や嘘の蔓延する体たらくにはならないでしょう。

中斎塾は<嘘をつかない>ことを実践しています。そのベースにあるのは、「足るを知る」という考え方です。もっともっと・・・と貪る感覚を抑える気持ちがあれば、多分メタボにもならないだろうと思います。日本には元々「もったいない」とか「足るを知る」という考え方があります。中斎塾フォーラムでは、これをもう少し守ってみようではないかという気持ちが広がるようにしていきたいし、日本中にそういう声が上がると、一気に広がると思います。そして他の国にも同じような考え方がありますから、それを勉強して、世界全体に「貪らない」「ほどほど」という気持ちが広がっていくことを期待して活動を続けています。

本日のテーマは「友」です。

先ほどの歌を読まれた明治天皇の友とは誰だったのでしょうか。同じく明治時代、西郷隆盛の友は誰だったのでしょうか。

明治天皇が皇居が火事になった時に、「西郷隆盛がくれたものがあるのだ」と言って火の中に取りに行こうとしたという逸話があります。西郷隆盛と明治天皇の心の繋がりは相当のものだと感じます。

又、西郷隆盛と大久保利通の関係も皆さんご存知のところでしょう。お互いを助け合い明治維新を成功させました。日本が新しい方向に進んで良かったと思っていたのだけれども、明治維新の志士達は中身が墮落してしまってもんでもない状況になったので、もう一度世直しをと担がれて、西郷隆盛は九州に帰っていったわけです。その時に、大久保利通が残っていれば、日本の行く末は安心だと思いつつ帰ったという話があります。

今、私が「友達」という言葉で表現していますが、人間の心と心の結びつき合いが、何より真っ当な道を歩ませることになると思います。ですから意識してそういう友人を作っていくと良い。友人関係の中で、自分がぐんぐん磨かれます。

「朋友」と書いた場合、「朋」は学ぶ友人・「友」は遊び友達です。何か悪さをしようとした場合に、「ちょっと待て」という友だちがいるかどうか、よく考えてみる必要があります。

日本の中をみると、少し前の嘘つきの社長さん達が思い浮かびます。儲けるために悪さをしようと思った時に、誰かが直言するかどうか。直言した時に、それを受け入れる度量があるかどうか考える必要があると思います。白い恋人・赤福・船場吉兆・・・これらはどうしても心の荒みを表すし、カネ・カネ・カネの世の中を象徴していると考えます。

これがメタミドホスやメラミンだと極端です。メラミンを混入させて儲けようと思った人には友達がいなかったのでしょうか。これは中国の話ですが、今、一番世界を騒がせているアメリカの経済危機も、根っこは同じだと思います。儲けよう・儲けよう・儲けようばかりです。

以前、サブプライムローンの話が出た当時に、こう申しました。青酸カリ入りの毒饅頭をアメリカは作った。毒入り饅頭を食べたら、当然身体を壊す事が分かっているながら売り出したわけです。しかもそのままだと買ってくれないから、砂糖をまぶして食べやすくして全世界に売りつけた。ご存知の通りサブプライムローンに端を発した経済危機、お金を扱う銀行業界・保険業界・証券業界といった視点で眺めると、アメリカは今、急坂を転げ落ちていきます。

サブプライムローンの話が出ましたので、ここで皆さんに質問します。

「今氣になっている事は何でしょうか・・・」

サブプライムローン、新型インフルエンザ、自殺者3万人、北京オリンピック後の中国の内政、日本の株安、日本の銀行の破綻、政権交代があるかどうか、金正日、三笠フーズ（汚染米）、中東の問題（アフガンやセルビアやグルジア）、ノーベル賞・・・

・・・有難うございます。

色々な事件や問題が出ました。これらについて、本日のテーマである「友」の視点から考えましょう。

サブプライムローン・・・これが今、世界を揺るがしている一番最初の問題です。自分だけ儲かるこの仕組みを考えた人は、友人がいたのかと思います。低所得者向けに売り出したこのローンは、最初は金利が安いけれども何年か経つとぐんと跳ね上がるから、当然払えなくなるのは目に見えています。しかもたちの悪いことにそれが見えないように隠してしまっただけです。嘘をつく仕組みを作ったわけです。そしてアメリカだけでなく全世界に広げていった。ここが一番の根幹です。ここにあるのは、<カネ・カネ・カネ> <心の荒み> がもろに出ていると思います。

三笠フーズ(汚染米)・・・この問題も同様で、<カネ・カネ・カネ><心の荒み>を象徴しています。政府側にすると三笠フーズは、農薬や黴の生えたお米を買ってくれる上に接待も受けられるのだから、有難いお客様となるわけです。マスコミは汚染米という言い方をしましたが、政府側は事故米と呼んで焦点をぼやかして本質を見えなくしています。そういうふうには日本の政府も心が荒んでいる。これは同じ枠の中で言える事です。

自殺者3万人・・・自殺者は一つの国の負のバロメーターだと思います。日本は、世界の自殺者の多い国の10番目です。1位~9位はロシア圏が占めます。元ソ連領の独立した国です。この国の人達は、ソ連からロシアに移行した時に通貨の価値を一変に落としましたので、食べられなくなったのです。

私の知り合いに、自殺を考えた人がいます。12億5000万円の借金を抱えて、死ぬしかないと思っ込んだのです。死神に取りつかれて、死ぬことしか見えなかったそうです。それがたまたま友人の存在で死ぬ事を思い留めて、必死になって事業を立て直し、今2億5000万円まで借金が減った。もう死神は去ったと感じたそうです。死神に取りつかれた人の話を直に聞くことによって、自殺しようとする人間の心の内がある程度見えてくる。

自殺を許容している国というのは、やはり国家としてまともではないと思っています。ベースにあるのは、やはり心の荒みです。

日本の株安・・・これはサブプライムローンが更に影響しています。銀行の破綻も繋がりますね。サブプライムローンの影響で銀行が潰れる。日本の株安も起きています。アメリカでは、サブプライムローンの問題が起きて、住宅抵当公社が2社、銀行が2社潰れました。それからリーマンブラザーズが倒産しました。その次の日にはAIGが破綻寸前迄ゆきました。AIGの破綻はリーマンブラザーズの比ではありません。リーマンショックがあって世界が相当大騒ぎしましたが、その影響を見てアメリカ政府は青くなったわけです。AIGが本当に破綻したら、もの凄い勢いで坂道を転がって行きますから、政府が金融安定化法を急遽作って歯止めをかけて、雪だるまが下に転がり落ちないようにつかえ棒をしたのです。

金融安定化法案も最初は否決されました。否決をしたアメリカの下院議員達は、海外旅行をする事が減多にない人達だと聞きました。つまり自分の選挙民だけしか見ていない。一般の選挙民達からみると、銀行員は自分達の数倍もの年収を貰って裕福な生活をしているのに、自分達の税金を使ってその人間を助けるのか！という苦情が政治家の事務所に殺

到したので、反対したわけです。その結果、株価がドカンと下がって、ブラックマンデーの再来と懸念される状況になり、法案を可決をするより方法がないとなったわけです。

これが今、世界に飛び火しています。アメリカがもの凄い勢いで転落をしていき、その飛び火でヨーロッパ、アジア、日本・・・皆、世界同時株安になりました。

先日倒産した大和生命の社長が、テレビで頭を下げて「サブプライムがこれほどわが社の経営の足を引っ張るとは思わなかった」と言っていました。これを見て私は、誰か良いアドバイザーはいなかったのか、と思いました。

リーマンブラザーズのCEOの報酬が年間60億円と報じられました。「心が痛みませんか」と下院で聞かれて、「私はそれだけの仕事をしているから当然の報酬だ」と言っていたとの事です。考えられないと思います。それはおかしい！と言う人間が回りにいないのでしょうか。

信じ合える人間がいないことによって、アメリカは転げ落ち、飛び火をして世界各国に同時株安・同時経済不況が来ていると感じます。

日本の政権交代・・・これはこれからの風向き次第でしょう。無党派層があまりにも多すぎます。麻生さんも小沢さんも、ブレーンに良い人物がいるかないかでもう少し変わります。ブレーンの勝負にかかってきていると思います。大きな流れから言えば、自民党がいつまでも政権を握っている事はあり得ません。誰が首相かは別にして、政権交代があってしかるべきです。今回変わるかどうかは分からないけれども、大きな流れでいけば、早晚変わらざるを得ないでしょう。

以前申しました文明法則史学から見ても、800年で文明は変わりますから、今ちょうど転換期に来ています。国が消滅し、新しい国が興るのも当たり前の時期に来ています。ですから一つの国の中で、政権が変わるという事はごく当たり前、簡単に起きてしかるべき事です。世界の流れが大きく動いている所だから、これは当然変わる流れに来ていると思います。

北京オリンピック・・・北京オリンピックが終って、農政問題や大気汚染問題等問題が山積しています。中国政府は、「我々は一致団結しよう」と言わざるを得ないような状況下に追い込まれています。不動産の暴落は酷いです。メラミンやメタミドホスの問題にしても、オリンピックの最中に出ていたものを一所懸命止めていたのです。止めていたものが今、一気に噴出しているから暴動は起きるのではないのでしょうか。小さいものはいくつも起きているでしょうから、これから大きなものが起きると思います。ただ、天安門のよ

うな形で世界に知らしめるかどうかは分かりません。

2010年に上海で万博がありますが、それまでは必死になって押さえつけるのではないのでしょうか。それが終わった瞬間に、もの凄い暴動が起きるような気が致します。中の格差たるや、日本の比ではありません。

金正日・・・もう死んでいるのではないのでしょうか。死んでいなくても、まともなものの考え方は出来っこない状況だと思います。あとは、金正日の銅像をいつ引きずり倒すか、という段階だと思っています。

以前、ベルリンの壁が崩壊する前に木内信胤先生が、「ベルリンの壁はもう歴史的な意味を果たしたから、もうなくなるよ。3ヶ月もすればなくなるんじゃないかね。」と言われました。実際に3ヶ月経つか経たないかでベルリンの壁は崩壊しました。

「何故、先生はそう分かるのですか」とお聞きしたら、「総合的直観力だよ。新聞を数誌読んで自分の頭で考えていれば、大体分かるようになる。大体世の中こうなっていくのではないかと仮に自分で言えるようになる。言ったなら、それが実現するかしないか、しなかったら何故しなかったかを考える癖をつけていくと、まともな人間になる。」とおっしゃいました。

大きな流れで見えていけば、この国も駄目になる国です。トップが死ぬことによってガラッと変わって来ると思います。

新型インフルエンザ・・・私は100%起きるとしています。国立感染症研究所の岡田晴恵研究員の話では、「最初は2週間分の食糧を備蓄して下さい。そして備蓄する習慣が出来たら、2ヶ月半用意して下さい」ということです。最近の新聞報道を見ると、この1、2ヶ月の間で大分動きが変わりました。例えばNECでは、感染が始まったら毎朝家族の体温を測って、38度以上の熱の人がいたら出勤停止にするという報道がありました。東京ガスは、二交代で工場に寝泊りしてもらい、営業や事務職の社員は自宅待機。イオンは、店舗を閉鎖して、感染を防止するグッズに身を固めて、外で対面販売の形式にするといった様々な対応を決めています。

感染したら死ぬわけです。致死率60%とされています。先ほどの岡田晴恵さんの一番新しい論文で、東京都をシミュレーションしたそうですが、その論文では都民の66%が死ぬという事です。もしも家族で感染者が出たら家族中が寝込むことになりますから、そういった場合、スポーツドリンクを水で薄めて枕元に置いて飲むと良いそうです。いつ何時

起きるか分からない状況です。噂はあちこちで出ていますが、正式にWHOがフェーズ4と発表した所から動きが始まると思っています。

中東問題・・・アメリカはセルビアに軍事基地を作りたいし、ロシアはとんでもないと考えているわけです。そのせめぎあいでもコソボ紛争が起きました。グルジアの場合は、ロシアとアメリカがパイプラインによる紛争を起こしたわけです。

いずれの問題も、自分の国だけいい思いをしたいという事だと思います。

様々な問題を全部ひっくるめてみると、<自分だけ良ければいい><自分の国だけいい思いをすればよい>という事で全部覆い尽くされている感じがします。ですからこういう問題を考える時に、<その国だけ良い思いをしよう><トップが自分だけ良い思いをしよう>と考えているのではないかと、そう思って一つ一つの問題を分析して見る。そして、「違う」という結論が出てきたらしめたもので、そこから良い循環が始まると思います。それが見えない限りは、ずっと坂道を転がりっぱなしだと考えます。

アメリカが減茶苦茶になって、日本も飛び火でこれから悪くなる。大和生命が駄目になった・・・世界同時株安で、どんどん回りにおかしな現象が出てきています。では、これから日本はどうなるのでしょうか。ノーベル賞だけは明るい話題ですけども、実態には関係ありません。

私は以前から、インフレとデフレのよじれ現象だと言い続けています。最近はそうではなくて、インフレの中にスーパーインフレの芽が出てきた。インフレの中にデフレの芽も出ています。日本の政府はデフレ終了とは言っていません。デフレの中にインフレの芽があり、デフレスパイラルが始まりだした。経済学で言えないような状況に、日本は突入していると思います。

やはりこういう時には、昔を振り返ってみる事が良いと思います。終戦直後はどうだったか、明治維新の時にはどういう後始末をしたか、そう考えると非常に参考になる事が多い。結局、自給自足で自己防衛という事になるのだらうと考えています。

今朝方新聞を見て思ったのですが、貸し渋り・貸し剥しが既に始まっています。帝国データバンクの調査では、不動産関係に限定すると265社中68社が「貸し渋り・貸し剥しにあっている」と答え、不動産売買の97社のうち43社が貸し渋り・貸し剥しで潰れています。それを裏付けるような言い方で、中川財務大臣が10月6日に「金融庁と中小企業

庁は実態調査を開始した」と発表しました。又、「メガバンクが地方の中小企業から融資を一斉に引き揚げている」という発言も中川大臣が話しています。

どんどんお金が回らなくなってきましたから、会社は潰れます。そういう状況に来ています。ですから会社を経営しておられる方は、どうぞお気を付け下さいとしか言いようがありません。

本日のテーマ「益者三友、損者三友」について解説します。

「こうし孔子曰く、えき益者三友、そん損者三友。ちよく直を友とし、りょう諒を友とし、たぶん多聞を友とするはえき益なり。べんへき便辟を友とし、ぜんじゆう善柔を友とし、べんねい便佞を友とするはそん損なり。」

季子第十六 通 424

先ほどから、良い友達を選びましょうと申し上げています。それを見分けるのに良い条件です。

直（正直な人）・諒（信頼できる人）・多聞（色々な物事を知っている人）・・・人間が人間として完成していく上で、正直者・信用できる人・多くのものをよく知っている見識のある人と付き合いが良いという事です。

逆にこういう人間は足を引っ張るから、あまり付き合い合わない方が良いという事で、便辟（へらへらと追従を言う人）・善柔（自分にとって耳障りの良いことばかりを言うけれども、腹の中では何を考えているか分からない人）・便佞（心の中は真っ黒けだが、口が達者でついつい納得させられることをいう人）を挙げています。

「益者三友、損者三友」と、先ほど吟じた明治天皇の御製の歌「友」を合わせてよく味わって戴くと、心の中に誰か一人か二人<これは真の友だ>と思えるような人が浮かんできたなら、その人の人生は真っ当だと言えらると思います。ところが、真の友と言えらる人がいないと、何か寂しいですね。お金で買う友達はあまり信用できない。遊び友達は沢山いても、本当に困った時に相談に行ける友達がいないければ、かなり寂しい。

どうぞ今晚寝る時に、私に真の友はいるだろうか・・・問いかけてみて下さい。

以上で本日の東京フォーラムを終了させて戴きます。有難うございました。